

寅さん歩 その15

江戸・東京(23区)の百名山-8

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標としています。昔の友人もはまっていたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。NHKBS放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。(平成28年9月22日放映終了)4年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイデアをいただきました。「山の日」祝日実施記念として踏破に挑戦したい気持ちになりました。

著者手島氏の選んだ「百名山」は現存しない山や富士塚も含まれていますが、最高峰は新宿区44.6mの箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、東京都シルバーパスも活用し、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い23区順に紹介します。

今回は三番目に多い目黒区の8山です。数字は踏破した数の累計です。今回の5区で半分の50山踏破です。

最寄り駅は代表例で、都営はシルバーパス使用可です。

[目黒区]

43. 西郷山

青葉台2丁目10 西郷山公園

最寄り駅 東急東横線 代官山駅/中目黒駅

代官山駅から旧山手通りの公園入口は、すぐ山頂です。標高は約36m、山を感じを味わいたい方は中目黒駅から目黒川を渡り、上ることをお勧めします。西郷従道(西郷隆盛の実弟で軍人・政治家)の別邸だったことから「西郷山」と呼ばれました。江戸時代は豊後竹田城主中川氏の抱え屋敷(別邸)、明治に入り、

西郷従道が兄の再起にと土地を購入しましたが、兄が西南戦争で自刃したため、自身の別邸を建てました。
昭和16年（1941年）渋谷に移転のため、当時の鉄道省の手に移り、戦災で残った洋館は犬山市の明治村に保存（重要文化財）されているとのこと。「西郷山公園」は昭和56年（1981年）開園しました。写真下左は目黒川からの公園入口と上り口です。



写真上は山頂からの眺望で石は桜島の溶岩。
写真右は旧山手通りからの入口で正面が写真左の場所です。

44. 宿山

上目黒5丁目 壽福寺一帯
最寄駅 東急東横線 中目黒駅

中目黒駅から左方面に行き、山手通りの次の信号を左折、坂を上って行くと壽福寺前交番角に出ました。ここに「宿山の庚申塔」（写真下左）があり、この周辺はかつて字名で「宿山」と言ったと記載されていました。

天台宗の壽福寺（写真下右）一帯が山とのことですが、下の道はかなりの傾斜地となっていました。



45. 諏訪山

上目黒3丁目 烏森稻荷神社裏手一帯
最寄駅 東急東横線 中目黒駅

宿山の傾斜地の下にある「烏森小学校」のすぐ下の斜面に「烏森稻荷神社」がありました。山の面影はありませんが、傾斜地が続くことと、「諏訪山」の名の付いたマンションなどが残っていました。宿山の壽福寺の説明板には、烏森稻荷は壽福寺の境内から元禄の頃（1688年～1703年）に移されたと記載されています。写真下右の烏森稻荷神社の左手の赤い幟を上ると（写真下左）烏森小学校のある上の道に出ます。



46. 大塚山

目黒4丁目5 大塚山公園

最寄駅 山手線/都営三田線 目黒駅

目黒駅から大鳥神社方面に向かい、「元競馬場」の信号を右折、少し行くと、「大塚山」のバス停がありました。下の山手通りに向かっては傾斜地です。「大塚山公園」も傾斜地にありました。目黒競馬場は明治40年(1907年)創立、昭和7年(1932年)第1回日本ダービーが行われ、手狭になり昭和8年(1933年)に府中の東京競馬場に移りました。



47. 東山

東山2、3丁目 一帯

最寄駅 東急田園都市線 池尻大橋駅

駅から目黒川を渡り、左折し、少し行って右手の坂を上りきると、東山3丁目「東山公園」一帯に緑が残っています。「東山」はこの辺りかと推定しました。2丁目から下って行くと、山手通りに出て目黒川を渡ると、「西郷山公園」下の「菅刈公園」でした。また新たな道を見つけました。



48. 目黒元富士

上目黒1丁目8 目切坂上辺り
最寄駅 東急東横線 中目黒駅

駅からすぐの目黒川の橋を渡り、江戸時代、この近くに石臼の目切りをする腕のいい石工が住んでいたことで「目切坂」（写真下左）と呼ぶ坂に出ます。この道は旧鎌倉街道とのこと。坂を上がると、「目黒元富士跡」の説明板がありました。『マンションの敷地にあった富士塚は文化9年（1812年）に築かれ約12m、別所坂上に新しい富士塚が築かれると、これを「元富士」と呼ぶようになりました。歌川広重の「江戸百景」にも二つの富士の風景が描かれています。明治以降に取り壊され、石祠や講の碑は大橋の氷川神社へ移されました』と記載。



49. 目黒新富士

中目黒1丁目1 別所坂上辺り
最寄駅 東急東横線 中目黒駅

目切坂を下り、目黒川沿いを行き、中目黒駅、駒沢通りを通り越して、田楽橋から上る「別所坂」があります。かなりの急坂です。上りきると「目黒新富士跡」の説明板がありました。『江戸後期に蝦夷・千島を探検した幕臣近藤重蔵が文政2年(1819年)この付近の高台に立派な

ミニ富士(高さ 15m)を築造、「新富士」と呼ばれ、大勢の見物客でにぎわった。平成 3 年(1991 年)秋、この近くで新富士ゆかりの地下式遺構が発見され、遺構の奥から石の祠やご神体と思われる大日如来像などを出土、調査の結果「新富士遺構」とわかり、今は再び埋め戻されて地中に静かに眠る』と記載。



50. 目黒富士

大橋 2 丁目 16 氷川神社全域
最寄駅 田園都市線 池尻大橋駅

車で賑わう国道 246 号線に面した場所に鎮座。写真下右は「氷川神社」への上り口で、目黒富士登山口(写真下左)は左側の交番横からです。1合目から頂上まで合目表示の白杭があり、「富士登山」の気持ちにさせてくれました。

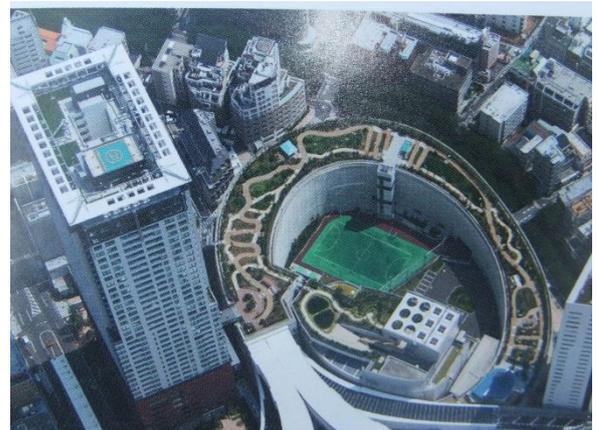




寅さん歩 その9 東京の富士塚めぐり-5 を参照ください。

【こぼれ話】目黒天空庭園

氷川神社前の「大橋ジャンクション」にあると知っていましたが、初訪問です。首都高3号渋谷線と首都高中央環状線は約70mの高低差があり、これを結ぶため2回転のループ形状で建設されたのが大橋ジャンクションです。建設にあたり、屋上に誰もが利用できる都市緑地7,000㎡と多目的広場3,000㎡を整備。排ガスや騒音の低減効果もあるとのこと。



写真右上はパンフレットの空からの写真を引用。茶色のくねくねしているのは庭園内の散策路です。



写真上右は外を流れる目黒川から見上げた天空庭園です。
写真下4枚は庭園風景。ベンチや東屋もあり、くつろげる天空庭園です。



次回は江戸・東京（23区）の百名山-9です。

平野 寅次郎 拝